**北大生協2021年度第９回定例理事会　発言録**

1　日時　2022年2月16日（水）　18:15～20:28

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

安藤亮博理事（自宅、北海道札幌市北区）

髙橋 廉理事（自宅、北海道札幌市豊平区）

井崎貴皓理事（自宅、北海道札幌市北区）

金川眞行理事（北海道大学内、事務室）

小篠隆生理事（北海道大学内、研究室）

伊藤美香理事（北海道大学内、事務室）

今村 央理事（自宅、北海道函館市）

笠原敏史理事（北海道大学内、研究室）

原　拓也理事（北海道大学内、研究室）

吉川牧瀬理事（自宅、北海道札幌市北区）

三澤建成理事（自宅、北海道札幌市北区）

3　出席役員

理事総数　　21名中　17名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、伊藤凌常務理事、安藤亮博常務理事、髙橋廉常務理事、井崎貴皓常務理事、小松慎太郎常務理事、金川眞行理事、小篠隆生理事、

伊藤美香理事、今村央理事、笠原敏史理事（18：20～）、原拓也理事、髙木暉馬理事、

三澤建成理事吉川牧瀬理事、

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）伊藤凌常務理事、久保淳司理事、奥山莉子理事、吉田薫穂理事

監事総数　　5名中2名出席

（出席監事）芳賀永監事、岡野泰樹監事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）宮本桜桃監事、齋藤環温監事、運天ひなた監事

（理事会スタッフ）野呂香綸

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部次長、

神田マネージャー、村田マネージャー、百石マネージャー

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　小松常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に伊藤常務理事を選任した。伊藤常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

【討議事項１　中央食堂2階リニューアルについて】

（笠原）今回のリニューアルに関して、ザンギ定食など色々とメニューに加えるということなのですが、教職員総代会議で総代の意見として、女性がもっと利用できるようなおしゃれな雰囲気が出せるようなものはないのかなと思いました。

ザンギなどは、結構パワフル系で、女性が食いつくというよりかは男の子のほうが食いつく感じです。女子学生・女性職員にもっと足を運んでもらえるものを取り入れたほうが良いかなと思いました。この資料は女性の生協職員さんも一緒に作られたのですか？

（小助川）女性の職員が関わったという事はありません。ただし、理事会のメンバーも女性理事が少ないというのもあるのですが、前回、前々回の理事会では女性理事が参加されて意見等を頂いています。女性の意見ということでは少ない内容になっています。

（小篠）アンケートを取られて、こういう場所が欲しいという要望で、居場所の話がすごく出ていましたよね。だけど、今回の提案で考えているのは食堂のメニューばかりのような気がするのです。それは生協さんとして儲けなければならないので、そっちが優先ということですかね？なので、食堂をどうするかという話と居場所って、私はあんまりリンクしないと思うし、今の方のお話ともリンクしますが、女性は行かないかもしれないですかね。それとザンギ弁当はセコマとバッティングすると思います。ホットシェフとバッティングしちゃうメニューを対抗して出して大丈夫なのかなと思います。ちょっとつっこみどころ満載のプレゼンテーションだなと思って聞いていました。まずは食堂をなんとかしたいという話なのでしょうか？

（鏡)学生ホールの管轄は大学になります。我々が変更できるのは、厨房と出食口となります。ですから、今回の提案では、大学と一緒に環境を含めて今後協議をしていこうという提案になっています。

（小篠）大学は、学生の居場所をどうにかしなきゃいかんとか、そんなこと中央食堂のエリアでやらなきゃいけないなんてことは考えてないと思います。それを生協の側から提案することは、生協も意識をガラッと変えたという所をプレゼンテーションしなきゃだめじゃないですか？それで「生協と大学が共同して学生の居場所を作っていく、そのためにはどうすればいいだろうか？」という風にしませんか？という提案じゃないですかね？向こうも金を突っ込まなくてはならないという話になれば、大学は一番逃げ腰になるところでしょ？だけど、Wi-Fi設備を作りたいだとか、家具も新調したいだとか、居場所にするためにはインテリアを色々変えなくてはならないですよね。これを生協さんが全部持つとなるとできないし、Wi-Fi設備も大学じゃないとできないと思うので、そういう所も含めてお互いに出し合いながら、ウィズコロナと学生ニーズに合わせた形で「福利厚生施設をリニューアルしませんか？」という話をしていかないとだめだと思います。「そこはあなた方のテリトリーだから私たちは入れないので食堂だけを考えます」という発想だと、多分できないと思うのですよ。だから考えてくださいって大学に行ったって、なにを考えていいのかわからないという話になってしまうと思いますよ。

たとえばメニューも、麺コーナーが混んでいるから２階にも麵コーナーを出食させようという話が本当にいいのかどうかということです。ああいうものを２階で食べさせるよりも、テイクアウトのもので頑張るという様にして、滞在が出来る状況を作る。みんなラーメンを食べてそのままずっと居るとは僕は思えないのですよね。それよりも軽食的なものや飲み物ですよね、コーヒーマシーンはいいかもしれませんけども。どっちかで頑張っていかないとだめ。それすらセコマはすでに２階でやっているじゃないですか。コロナで今止めていたりもしていましたけど、そっちも今後開いてきますよね？すごくオープネスな感じの空間で夏はクーラーギンギンに効いていて、Wi-Fi使えてというようなところと、対抗してこっちも「居場所だぞ」という様にするためには、どういう戦略でいくのか。

「焼きたてのパンがある」というのもいいかもしれないですよね。そういう風に考えていかないと、二番煎じ、三番煎じの追従になって、結局利益率が下がると思うし、かけたお金がどれくらいになるのかちょっと見てないですけども、それを回収するという収支は組めないと思うのですよね。もし、そっち方向にいきたいのなら、よっぽどコンセプトをちゃんとしていかないとだめだと思います。で、食堂をいまの一階の混み方を改善するための改修だけをしたいと言うのなら、今のお話で宜しいのではないかと思いますけど。その辺ちゃんとしたほうがいいと思います。

(小助川)常務会・理事会の中で何度か議論させていただいている中で、どうしてもメニューや事業系のところで職員が中心的に考えてしまう傾向がありました。そこで学生さんの意見では「滞在が可能」な場所が欲しい、オンライン授業に出席できる場所を求めているという声が強く聞かれました。生協としては昼食利用を強めて行きたくて、麺とテイクアウトの二重路線になっていますけど、14時以降については学生さんがある程度自由にできるフリースペースにするよう調整していきたいという提案をしています。今後、どこに重点を置いて改修していきたいかということを説明できるよう工夫していきたいと思っています。

(小篠)ただ、生協だけがニューアルしたいのだという話にとられてしまうと、目的が違いますよね。「一緒に学生の場を作りませんか？」というのが目的ですよね？そこがわかるように話さないとだめだと思います。収支がどうだとか、出食やメニューがどうだとかという話はその後の話です。教務課に聞いたら、リモート授業が無くなって対面になってくるのではないかとか、人が増えてくるのではないかとか、そういう予測をしていましたけど、今は数が増えるかもしれないですが、リモート授業って無くなりませんよ。それをやらなきゃならないという事になってくると、今までのようにみんなが大学に来てという状況ではない。そうしたときに一番大学に来て困るのは、大学で授業に出る場所がないのですよ。授業に出る場所というのはWi-Fiが使える場所ということですよね。それがないので授業に出られない。一回大学に来てしまうとリモートの授業に出られないから、対面の授業が終わった後で一度家に帰ってそれでそこでWi-Fiを繋ぐ、そういうパターンになってしまうのです。だから僕たちも時間割を工夫しているのです。学生たちのライフスタイルをこちら側でデザインしてあげなくてはだめだという話を実施しているのです。そういうライフスタイルはあんまり変わらないと思いますよ。という風に考えていくと、大学に生協さんが建物を使ってスタバみたいなものを作っちゃったらこりゃ来ますよね。そこでコーヒー飲みながら論文書きますよ。そこでパソコン使いながらいろんな文献調査しますよ、図書館に行かないで。そういうニーズのキャッチアップっていうのが必要ですね。ラーニングコモンズのことを考えるのは、本当は学生支援課なのだと思います。ですが、金もなければ何もないという感じで今は何にも考えられていません。「ラーニングコモンズに飲食を入れましょうよ」という話なのですよ。だから発想が逆なのですね。「ラーニングコモンズに飲食を入れて、そこを生協がバックアップしますよ。これでどうですか？」という様なプレゼンテーションの仕方をしたら、「そこまで考えてくれてお金も少し出してくれるのならばこっちもお金を出さないとまずいよね」という話になってくるじゃないですか。そういうプレゼンテーションにしたほうがいいと思います。スタバというのはちょっとオーバーかもしれませんが、学生が言っている居場所っていうのはそれですからね。

（金川）事前にメールで考えを送らせていただいたところで、だいぶ小篠先生の考えと似たようなところがあるのですけど、私が言いたいのは、キーワードは学生さんではなくて、組合員に向けた憩いの場を作ると考えていただけないのかなということです。組合員が憩える場を提供するという風に考えて頂きたいなと思います。狭い空間で短い昼の時間に利用したところで、売り上げは知れている。そうならば、朝から夜遅くまで営業できるものにした方がいいのではないか。小篠先生も言っていましたが、私の考えはスタバと生協の書籍を合体させると良いのではないかなと思っています。スタバを入れると場所代が大学にストレートに入りますので、そこについては生協さんに赤字は全く出ない。そこに来るたくさんのお客さんが書籍部によって本を買って帰る。Wi-Fiも使えて、夜遅くまでやっている。そうすると、職員も来る。職員も生協に良い印象を持つ、そうすると評判が上がって、協力してくれるようになるということで、昼食の２階は売り上げ度外視で生協の印象度UPのための場にするような形にするといいのではないかなと、今回の資料を見せて頂いて思ったところです。

　小篠先生が言うように、学務部は全く縦割りで学生さんに絡むこと以外は一切口出ししませんので、学務部と交渉しても100％無理です。組合員向けの憩いの場作りということで、DXチームで山本理事を筆頭に働き方改革もしています。職員が休む場所というのが大学にないのですよね。休憩室すらない部局がたくさんあるので、そんな中でスタバのようなコーヒーショップがあれば職員にとっても良いのではないかと。そうすればそこは人事課の厚生労務室が関わることになりますから、担当の理事は村田理事になるのかな？そこは学務部長を飛ばすわけにはいかないと思うのですけど、教育担当の山口理事と村田理事と学務部長と総務企画部長を交えて、職員向けにそういう場を作っていきたいというコンセプトでいくとまだお金も出てくるのかなと思います。　それプラス、ものすごく観光客が来ますので、玄関の前を観光客用にきっちり整備する。そこに２月１日に社会連携の基本方針もしっかりできたわけですので、社会連携のキーワードも入れて、観光客向けに大学に好印象を持ってもらえるようなものを作って、あの辺は観光客用のトイレもありませんので、トイレもきれいにして観光客にもいい印象を持ってもらう。そしてフロンティア基金のパンフレットでも置いておけば、100人に一人ぐらいが寄付でもしてくれるかもしれないなという話も交えて、理事の方にプレゼンしていけば話に乗ってくれるのではないかなという所で、学生さん視点だけじゃなくて組合員全体を見て憩いの場作りをしていくといいのではないかなと思い、小助川さんと鏡さんにメールを送らせていただいたところです。通常の昼営業で儲けるというのとちょっとここは諦めた方がいいのではないかと思っているので、そういう考えも入れて頂けるといいなと思った次第です。

（小助川)学務部からは、今後予算請求するにあたり生協からの提案を参考にしていきたいのでプランを出して欲しいと言われています。北部厚生施設も同じ状況で提案して欲しいとのお話も来ています。自分たちで提案を作成するという事がなかなか難しそうです。数年前に、新たな中央店ということでプレゼンの資料を出しましたが、結果的にセコマさんに代わってしまったという経緯があります。北部も中央も築50年の建物ということで、予算が付けば新たな福利厚生施設を作ったり、改修ということも考えているようです。生協としては「食」というものを中心に考えてしまいますが、頂いたご意見からも、そうした考えを改めるということも必要だと思っています。中央店のことについては、引き続きいろんなご意見を伺いながら進めていきたいなと思います。

（坂爪）笠原理事がおっしゃっていましたが、女性の声が全く反映されていないという、最近の理事会というか、先週もかなりゆっくり時間をかけて議論したのですけど、常務理事会が男子校のようになってしまっています。この理事会は女性が何人かいらっしゃいますので、女性の方誰か発言頂きたいというのと、プランを練り直す際にも女性を入れて検討して頂きたいと思います。

【討議事項２　2021年度総括と2022年度方針案と監事会議長への回答報告】

（金川）22年度方針案について、やはり組合員全体を見ている案にはなっていないのかなという印象を持ちます。例えば、３の事業計画のところでも新学期ということで学生さん向けの話は連携を強化すると書いてあるのですが、大学の新しいメンバーになった人たち、職員組合員へのアプローチに関しては何も出てきません。この未曾有の危機において、組合員全体に協力を仰がなくてならない、組合員の数を増やさなくてはならないところにおいて、対職員向けのアプローチがコンセプトとして出てこないというのはいかがなのかと思います。まず、北大生協は組合員のためにあるのだというところを大前提として、基盤の部分をしっかりやらないと大学と契約を結んでいる福利厚生業務は出来ないのではないかなというところで、まずは教職員に対するアプローチのところを書いておくべきじゃないのかなというのが一つ目です。

（小助川）学生中心的に書かれているということはご指摘通りです。全体的に職員を含めた組合員という視点や捉えかたで、修正を加えていきます。

（芳賀）まずは監事会への回答を取りまとめて頂きありがとうございました。回答の中で、経営状態が厳しいということを組合員の意識改革を促すためにも危機意識を共有しましょうというのは回答の中にも書かれていて、採算分岐点を「見える化」することを取り組みますと書かれていました。今来年度の方針を見ていたのですが、経営状態が今どのへんにいてどのような状態なのかという事を「みえる化」するような話が一体どこに出てくるのかなと一生懸命探していたのですが、そのあたりというのはどうなっているのでしょうか？

（鏡）基調のところに「累積赤字があって～」というところがあるのですが、表現が弱いというご指摘があれば、もうちょっと強めに書き換えることも必要があるかと思います。

（芳賀）基調のところに書かれていますが、それを受けて具体的にどうやって再建していくのかというのが、全体の方針としては何となく精神論的なところが大きくて具体的にこれを方策として打っていくというのがあまり読めなかったので、ぜひせっかく監事会への回答ということで理事会の皆さんが色々な意見を出してくださっているので、ぜひ来年度の方針の中に反映していただければと思いますので宜しくお願いいたします。

　あと、この後出てくるのかもしれませんが、アンケートについて取りまとめ頂きありがとうございました。経営状態が厳しいことはどれくらい知っているかというアンケートの中で、知っていると知らないがちょうど半々くらいで、分析にもこれが多いのか少ないのかと書かれていたのですが、そのあたりについては今現在、一体どのように認識されていて、それをどう次の方針に反映されていくのかというのを考えて頂けるといいなと思っておりますので是非よろしくお願いします。

（鏡）最終的には第一号議案、第二号議案として理事会で議決いただくことになりますので、今現在教職員総代会議でも投げかけをさせて頂いています。今後議案検討会議委員会もございますので、こちらで最終的な議案にしていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

【報告事項３　薬学部店の報告と理学部アンケートの結果の報告】

（芳賀）特に、参加したいという声が圧倒的に多いところに驚いたというか、感動しました。細かい文章をひとつひとつ読んでいくと、ものすごく愛されているなというのを実感しました。もちろんそういう人たちが意識的に回答してくれたのでしょうけど、それにしても２～３割の人がそういう思いをもっているというのが凄く感動しているし、それをうまいこと次のステップにつなげられると上昇気流に乗れるのではないかと思っています。ぜひ、組合員一人一人のそういう思いをうまい形で吸い上げるような次の一手を考えて頂ければなと思っています。このアンケートがどういう形になっていくかというのを確認したいのですが、つまりアンケートの結果を何かの形で理学エリアの組合員にフィードバックできればと思うのですが、そういうのはなにか計画をされていますでしょうか。たとえばメールを通じてもう一度同じメーリングリストを金川理事、ご面倒をおかけしますけども、生協からの回答が来ましたという形で配信して頂くとかはどうなのでしょう？何もレスポンスがないと「あのアンケートはどうなったのだろう？」って思うかもしれません。

（鏡）HPのお知らせ欄のところに理学部アンケートの結果という項目で載せさせていただいております。もし、お力添えいただけるのであれば、こちらのURLをご紹介いただきたいです。私共はHPかTwitterでお知らせする方法しかございません。

（笠原）アンケート調査結果は、教職員組織委員会で発行しております「きぼうの虹」に掲載させていただくと皆さんのお目にかかるのではないかと思います。

（金川）では「きぼうの虹」で出る前に、アンケート対象だった理学エリアにはメーリングリストで生協さんのHPのURLをお知らせできれは良いかなと思います。

（坂爪）今議論になっていたミーティングへの参加希望が多かったという話ですが、私もとても嬉しかったです。ミーティングに限らず、みんな対面というものに飢えているのだなというのが改めてわかったので、フィードバッグのやり方もミーティングとかでやっていいのではないかなと思っています。リアルが難しければオンラインでも今簡単に出来るとおもうので、放談会みたいなものをやってもいいのかなと思いました。理学系の皆さんのご協力でできたことで、皆様本当にありがとうございます。私からもお礼を言いたいと思います。

(鏡)ミーティングにつきましては店舗の担当職員等含めて調整しながら進めます。オンラインでの放談会もいいと思います。時期をみきわめながら運営させて頂ければなとおもいます。

【報告事項５　理事会室報告】

（小助川）フレンドリー職員（有期のパート勤務）の募集をしているのですが、学生からアルバイトではなくてパートとして働きたいという声がパラパラ聞こえてきます。大学では制限などはあるのでしょうか？

（坂爪)シフトを小分けしてあげられるのなら移動時間は０なので学生にとってはいいのではないでしょうか？その辺のマッチングを出来ればお互いにいい話になると思います。

（笠原）保健学科では病院実習がある関係で、原則2週間あるいは実習を行う学生はアルバイト・部活動は禁止しています。やはり病院や施設という特性から、特に飲食関係は不特定多数と接触する機会があるので、保健学科や医学部系は厳しいかなという印象です。

（小助川）学部によっても色々な事情があると思うので、注意しながら考えていこうと思います。

以上